

みんなで使おう学校図書館！

学校図書館支援便り

市立図書館司書と支援担当の学校司書が
学校図書館支援を行っています



ブックン(やべみつのりさん画)

平成 30 年 7 月 11 日
東村山市立中央図書館
学校図書館支援担当

もうすぐ夏休み。たまにはゆっくり読書でもいかがですか？ 学校図書館と本の情報をお届けします！

給食とコラボレーション！@北山小

5月のある日の北山小学校。今日の給食は2年生がむいたグリーンピースが入った青豆ご飯です。図書の間には、2年生は、学校司書から豆の出る本を読み聞かせしてもらいました。豆むき体験と本の知識が結びついて、期待も高まり、この日の給食は特別おいしく食べられたことでしょう。

北山小学校では、心だんから学校司書と栄養士が連携して、食育に取り組んでいます。毎日給食と関連のある本を栄養黒板に展示して、子どもたちにより給食に興味をもってもらっているそうです。すてきな取り組みですね！



←給食の献立と一緒に紹介した本などが並べられています。



→『野菜と栄養素キャラクター図鑑』（日本図書センター 田中明、蒲池桂子/監修 いたうみつる/イラスト）苦手な野菜に興味をもってもらうのにもオススメの本だそうです。

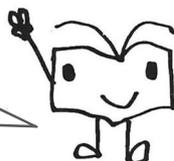
みんなほっこり「大家さんと僕」



東村山四中出身のお笑い芸人カラテカ 矢部太郎さんがはじめて出版した漫画『大家さんと僕』（新潮社）が手塚治虫文化賞を受賞しました！ 受賞スピーチでは「中学校の図書室で『火の鳥』を読んでいた」との言葉も。うれしいですね。

疲れたときにもオススメです！

ちなみに矢部さんのお父さんは、
ほくブックンを書いてくれた
やべみつのりさんだよ！ 読んでね！



道徳教科書にも対応します！

小学校では今年度から、中学校では来年度から、「特別の教科 道徳」が始まり、教科書も使われるようになりました。物語教材も多い道徳教科書ですが、出典の本や関連の本なども多くあり、活用すればより豊かな教材で授業ができそうです。学校図書館では、関連図書もできるだけそろえるようにしていますので、ぜひご利用ください。

読解力について考える

『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』

新井紀子/著 東洋経済新報社



「日本の中高生の多くは中学の教科書を正確に理解できない」これがAIの研究をするなかで、中高生の基礎的読解力に危機感を持った著者らが、リーディングスキルテストという方法を使った大規模な調査をして導き出した結果でした。

近い将来、多くの職業がAIに取って変わられると言われているなか、代替できない読解力とはどんな能力なのか。考えるヒントが詰まっています。

『「読む力」はこうしてつける』増補版

吉田新一郎/著 新評論



読んで理解するとはどういうことか。優れた読み手が使っている方法を7つにまとめ、「リーディング・ワークショップ」など、それらを学ぶための方法を紹介しています。著者は英米の学校で行われている様々な読解指導についての著作が多数あります。

夏休みは、市立図書館へ！

夏休みの自由研究を応援して、「オリンピック・パラリンピックを調べよう！コーナー」が各館に設けられます。百科事典や、調べ方ガイド・ワークシートも用意していますので、ぜひご利用ください！